

会報第26号発刊に寄せて



会長 N/S

新津ハイキングクラブ活動の集約である「2018年（会報第26号）山行記録」を皆さんのお手元にお届けできることを喜びたいと思います。役員ならびに会員の皆さんに感謝いたします。

山行に参加される皆さんと幹事は山行の前々日から天気が気になりますね。私も気象を気になる今日この頃。新潟では4月13日に桜の開花宣言、満開は16日と例年になく遅く、18日には強風で桜散る。経験ではコブシが咲き、次に桜が咲く順なのだが、我家のコブシは桜の開花日に咲き始めた。これは3月から4月上旬までは、寒冷前線が南下し例年になく寒い時期が続いたためであった。また、梅雨の時期も地球温暖化、海水温の上昇により大雨警報続きであった。梅雨明けは8月2日の平年より9日遅れ、旧盆時は日照時間不足でありました。

また8月26日の「日光・白根山」は30名と大勢の参加者にも拘わらず秋雨前線で中止となってしまった。8月30日頃から一気に9月下旬の気温となりそのままいつもの秋になりました。紅葉山行が楽しみな10月は各地から紅葉が一週間早く、11月並みの寒さと長雨により中止が多い月となりました。

11月は長雨の間隙を縫って晴天の山行ができました。17日には五頭から大蔵の峰々は早々と初雪に覆われました。結果、今年は「天候不順で中止」となった山行数は昨年に続き最高の11となってしまいました。

特記したいことは、4月29日の「半田山」は奥様に代わり顧問が担当していただいたことや、代行山行をしていただいた方々には感謝の念に耐えません。このように幹事の並々ならぬ努力のお陰で、クラブとしての形態を成せました。一年間の山行を無事に実施できたことを喜びたいと思います。



皆さんにおかれましては、それぞれが歩んできた経験を基に明日の幸せを願い、仕事に、趣味に、そして健康づくりに……努力していることでしょうか。健康づくりとしての中高年者スポーツとして、無雪期の登山をする当会は、私の標語（NHCを共に創る、健康、安全登山、楽しく、感動、感謝）を心がけていただけたらと思います。